

広報 えびの

12

広報えびの 12月号
2009.December
No.518
平成21年12月20日発行



J R 肥薩線開通 100 周年記念特集 [P2 — P17]

真の幸せ さがす旅へ

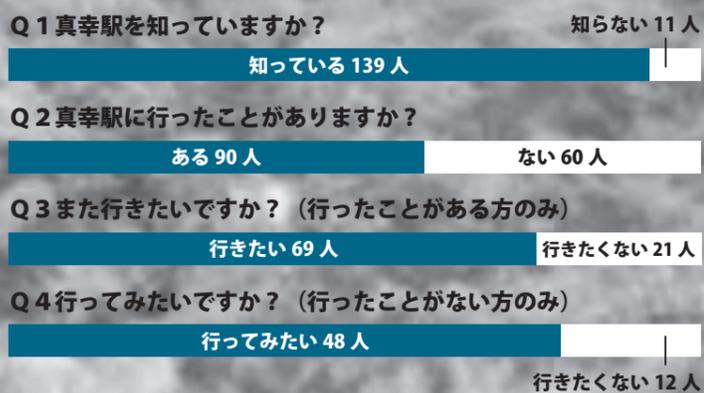
〈表紙写真〉肥薩線開通 100 周年を祝うイベントでひょっとこ踊りを披露する参加者。

広報えびのはホームページでもご覧になれます。
<http://www.city.ebino.lg.jp/>

真ほんとうの幸せ さがす旅へ

平成23年に100周年を迎える真幸駅。
真幸駅の魅力に迫った。

真幸駅構内に留置されていたD51形とC60形の蒸気機関車が、ハチロク38633号機に連結されて発車の時を待つ。【写真提供／末永順三氏（大阪府）】



知っているようで 意外と知らない真幸駅

平成21年11月21日、JR肥薩線は全線開通から100周年を迎えました。肥薩線の中で唯一宮崎県にある真幸駅。観光列車ブームもあり、真幸駅は報道等でも秘境駅として大きく取り上げられ、全国でも有名となりました。

市民の皆さんは真幸駅を知っていますか、行ったことがありますか。どのくらいの市民が真幸駅を知っているのか、また、行ったことがあるのかを調べるため、広報では

市民150人に対して聞き取り調査（上グラフ参照）を実施しました。調査の結果、9割以上の方が「真幸駅を知っている」、6割の方が「真幸駅に行ったことがある」と答えました。9割以上の方が知っている真幸駅。しかし、「知っているのは名前だけで、詳しいことはよくわからない」という方も多かったです。今やえびの市を代表する観光地となった真幸駅。今号では、その真幸駅の歴史と魅力に迫ってみました。

真の幸せ
さがす旅へ

肥薩線のあゆみ

- ◎明治34年6月10日 鹿児島～国分（現隼人）間開通
- ◎明治36年1月15日 国分（現隼人）～横川（現大隅横川）間開通。
- ◎明治36年9月5日 横川～吉松間開通。※鹿児島線の鹿児島～吉松間開業。栗野駅、吉松駅新設。
- ◎明治41年6月1日 八代～人吉間開通（川線開通）
- ◎明治42年11月21日 人吉～吉松間開通（山線開通）。※門司～人吉～鹿児島間が全線開通し、「鹿児島本線」と改称。これにより、当時の日本縦貫鉄道（青森～鹿児島間）が完通。矢岳駅、大畑駅新設
- ◎明治44年5月11日 真幸駅営業開始
- ◎昭和2年10月17日 八代～川内～鹿児島間（海岸線）が全通し、門司港～鹿児島（海岸線）間を「鹿児島本線」と改称
- ◎昭和20年8月22日 吉松～真幸間の第二山神トンネルで列車退行事故が発生し、50人以上が犠牲となる
- ◎昭和34年5月1日 準急「えびの」熊本～宮崎間運転開始
- ◎昭和40年11月1日 準急「やたけ」運転開始
- ◎昭和47年3月15日 人吉～吉松間DD51による運転開始
- ◎昭和49年4月25日 特急「おおよど」博多～宮崎運転開始
- ◎平成8年3月16日 観光列車「いさぶろう・しんぺい号」運転開始
- ◎平成16年3月13日 九州新幹線鹿児島ルート（新八代～鹿児島中央間）開業。観光列車特急「はやとの風」（鹿児島中央～吉松）運転開始
- ◎平成17年8月21日 「SL人吉号」さよなら運行
- ◎平成21年4月25日 熊本～人吉間で「SL人吉」運転開始
- ◎平成21年11月21日 肥薩線開通100周年



吉松駅前にある肥薩線開通記念碑（左）。右奥にあるのは、百周年記念碑。

↑真幸駅の入場券。結婚式で来場者に配られるなど、とても人気がある。



真幸駅の歴史

「トンネル事故に山津波。過去に起こった悲劇」

明治42年11月21日に「鹿児島本線」として全線開通したJR肥薩線。一方真幸駅は、付近の地質が悪く、山崩れの災害のため、ほかの駅より営業が遅れましたが、明治44年5月11日に、宮崎県で初めての駅「真幸駅」が営業開始しました。それから、100年近くが過ぎ、真幸駅ではさまざまなことが起こりました。

第二山神トンネルの悲劇

終戦直後の昭和20年8月22日、車外まで多くの復員軍人乗せた超満員列車が吉松駅を出発。坂道を上り始めると、前引きの機関車が空転を始め、後押し機関車で真幸駅まで押し上げるために、必死に石炭を燃やしました。この

山津波直後の真幸駅周辺。周辺は土砂に流されたしまったが、真幸駅舎（右の建物）は、大きな被害を受けずに済んだ。【写真提供／福元幸子氏（中内堅区）】



後部補機と発車の汽笛を交わし、スイッチバックを後にするD51170号機けん引の混合列車。全力で真幸駅の上りこう配を駆け上る。【写真提供／末永順三氏（大阪府）】



第二山神トンネルの列車退行事故で犠牲となった人々をまつた山ノ神復員軍人殉難の記念碑。毎年、おごそかに慰霊祭が行われる。



昭和61年に無人駅となった真幸駅。無人駅になる時、西内堅区民によってお別れ会が行われた。



昭和47年7月発生の山津波で流れ出た重さ約8トンにも及ぶ岩塊。真幸駅のホーム中央で止まった。災害の記憶を消さないようにと、現在も山津波記念石として現地で保存されている。



真幸駅のホームに入る貨物列車（手前）と側線に留置された初期のD51（奥）。駅周辺には田畑が広がり、数件の商店や民家が点在していた。【写真提供／末永順三氏（大阪府）】

真の幸せさがす旅へ

一瞬で町を消した山津波

昭和47年、6月上旬から降り始めた梅雨は、数日おきに集中豪雨をもたらしました。この雨は、昭和43年2月21日

ような状態で第二山神トンネルに進入。出口50メートル前で、前引き機関車のボイラーが故障し停車。トンネル内には機関車の煙と蒸気が充満し、車外に乗っていた人たちは窒息状態となり線路に転落しました。また、機関車が後退し始め、線路に倒れた人や脱出しようと歩いていたら人たちが引かれ、多くの人たちが死傷しました。死者は56人で、西内堅区民によって埋葬されました。現在でも、毎年8月22日に、慰霊祭が行われています。

発生 of 「えびの地震」で亀裂を生じていたと思われる急傾斜地帯のいたるところで地すべりを起こし、市内全域に甚大な被害をもたらしました。7月6日午後2時ごろには、真幸駅のある西内堅地区で山津波が発生。30万立方メートルの土砂が一気に流出し、住家28棟、非住家29棟を押し流しました。この山津波による人的被害は、当時の広報えびの（昭和47年8月10日発行）によると死者2人、行方不明者3人、負傷者7人。現在も発見されていない方がいらっしゃいます。住んでいた人たちは、その土地を離れ、別の地へと移り住みました。

一瞬にして町を消した山津波。真幸駅舎も半分土砂で埋まるなどの被害を受けましたが、最小限で済みました。この時、一緒に流されていれば、今の木造駅舎はなかったでしょう。

このように、過去100年近くの間でさまざまなことが起こった真幸駅。現在、「この真幸駅を守っていこう」、「地域活性化につなげよう」とがんばっている人たちがいます。真幸駅を支えている皆さんを取材しました。



真幸駅でえびのの農産物や加工品を販売する真幸駅友の会の皆さん。ほんのわずかな客との交流が皆さんの笑顔を支えている。



真幸駅の八重桜の下で花見を楽しむ西内堅区の皆さん。真幸駅は大切なふれあいの場となっている。

多くの人が愛する駅とするため
駅をみんなで支えていきたいと思ひます。

真幸駅は私たちの活動拠点。
そして大切なふれあいの場でもあります。

真幸駅を支える人たち① 西内堅区

真幸駅のある西内堅区では、真幸駅周辺の環境美化活動や国道沿いの清掃等を行っています。真幸駅にある同区の花畑には、春には菜の花、秋にはコスモスが同区民によって植えられ、訪れた人々に感動を与えています。

また、真幸駅の西側にある真幸柵田(柵田百選)では、毎年、田植え交流会、稲刈り交流会が行われています。同区も高齢化が大変進んでいますが、区民みんなで柵田を守っていくと、毎年多くの区民が集まり、参加者に苗の植え方や、かまの使い方など

を指導しています。

現在、同区の鶴田守区長が取り組んでいるのが、真幸駅のシンボル「幸福の鐘」のミニチュア版。試作品ができ、その音は「チリン、チリン」と、本物の鐘とは違ったかわいらしい音です。「これで、さらに真幸駅を訪れた人たちが喜んでくれるのでは」と、鶴田区長は期待しています。

「真幸駅は私たちの大切なふれあいの場です」と鶴田区長。昔から、同区民は真幸駅に集い、活動と交流をしてきました。これは、今も昔も変わっていません。



西内堅区
鶴田守 区長
Turuda Mamoru

私たちは、駅を訪れた人たちの心に残るような駅にするため、駅周辺を花でいっぱいにしてようと6年前から活動しています。途中、悩みも多々ありましたが、花でいっぱいになる日もそう遠くないと実感できるようになりました。私たちの活動拠点でふれあいの場でもある真幸駅。いつまでも大切にしたいですね。

真幸駅を支える人たち②

真幸駅友の会

真幸駅友の会は、平成14年に「ミリオン友の会」として発足。当時は、京町地区で活動していましたが、平成16年に活動拠点を真幸駅に移しました。平成18年に「真幸駅友の会」に改名し、現在に至っています。

同会の主な活動は、真幸駅で毎週土、日、月曜日に、えびのの生産された野菜や加工品などを販売、駅周辺の環境美化活動などです。また、訪れた人々に、えびのをもっと知ってもらおうと、駅舎内にギャラリーをオープンさせました。同会の上熊須康会長(加

久藤籠区)は、「真幸駅を訪れたお客さんに『また来ますね』と声をかけられると、とてもうれしいですね。真幸駅のすばらしさを再認識させられます」と話します。

発車時刻となり、真幸駅を出て行く列車に、見えなくなるまで手を振って温かく見送る同会の皆さん。その「おもてなしの心」は高く評価され、平成21年度宮崎県地域づくり奨励賞を受賞しました。

同会会員で生産者でもある三木セツ子さん(南昌明寺区)。生産者としてどのような思いがあるのでしょうか。



真幸駅友の会
上熊須康 会長
Kamikumasu Yasu

今年が肥薩線が100周年を迎えましたが、平成23年5月には、真幸駅が開業100周年を迎えます。その時には、駅に感謝を込めて、盛大に祝いたいですね。同会では、私たちと一緒に活動を行ってくれる会員を募集しています。とても楽しい活動ですよ。興味のある方は☎0984-35-2534までご連絡ください。



①キャベツを収穫する三木さん。大きく成長したキャベツに笑顔がこぼれる②土、日、月曜日は、真幸駅で自分が作ったものを販売。販売を通じた客との交流も楽しみの一つ③干し柿を作る三木さん。この場所は日当たりもよく、絶品の干し柿ができる④収穫したてのサツマイモ。「宮崎紅」という品種で、とても甘くてうまい。

うまかもんを
たくさん用意して
待ちちょるよ。



真幸駅友の会会員・生産者

三木セツ子 さん

すべて手作りの自信作 お客様との 交流を励みに

「お客様に喜んでもらうために作っています」と話すのは、真幸駅友の会会員で、真幸駅で販売する農産物の生産者でもある三木セツ子さん（南昌明寺区）です。

三木さんは、4年前に、友人の山下サツ子さん（西川北区）とともに、野菜づくりを始めました。お二人の畑に、白菜や大根、玉ネギやニンニクなど、約20種類の旬の野菜を栽培しています。また、漬物や干し柿などの加工品も作っています。

二人が作る野菜はすべて手作りで無農薬。三木さんは「山下さんに聞きながら毎日楽しく作っています。自分でもびっくりするほど大きくなって立派なものができるとうれしいですね。お客様の喜ぶ顔が浮かびます」と話します。二人が作った野菜や加工品

はとても人気があり、真幸駅で購入した客から、「おいしかったから今度は送ってほしい」という電話や手紙が寄せられるそうです。

土曜、日曜、月曜日は、自信作の野菜や加工品を車に積み込み、真幸駅に向かいます。この日は、生産者から売り手となって、真幸駅を訪れた皆さんに販売します。

「野菜づくりも楽しいですが、真幸駅での人と人との会話、交流も楽しみです。次はどんな人と出会えるのかなあと、いつもわくわくします。真幸駅を訪れた人が幸せになって帰れるように、笑顔で心がけています」と三木さん。新たな出会いを期待しながら、今日も山下さんとともに畑で汗を流します。

真の幸せ
さがす旅へ





真幸小学校6年
上村 心さん
Kamimura Kokoro

真幸駅に来たのは今日で2回目です。真幸駅にはいろいろな物語があるので大好きです。今日はここに来た人が喜んでもらえるようにと思って、花の苗を植えました。四つ葉のクローバーを観光客の皆さんに配ったら、とても喜んでくれたので嬉しかったです。また友達と来て、クローバーを配りたいです。



①観光客に配った四つ葉のクローバー②駅の周りに花の苗を植える児童たち③観光客に四つ葉のクローバーやチラシを配る児童。観光客との会話も弾んだ④「また来てね」と手を振ってしんぺい号を見送る児童たち。



真幸小学校6年
原田 成仁くん
Harada Narihito

真幸駅にはじいちゃんと来たことがあります。今日はここにきた皆さんに感謝の気持ちを込めて花を植えました。すくすくと元気に育ってほしいです。これからも真幸駅に来て、鐘を鳴らしたり遊んだりしたいです。ごみなどが落ちていたら拾うなどして、きれいな真幸駅を僕たちも守っていきたいと思います。



真幸駅を支える人たち③ 真幸小学校の児童たち

真幸小学校の6年生40人が、5月29日、真幸駅を訪れました。目的は、観光客の皆さんに喜んでもらおうと花を植えるということです。

駅に着くと、真幸駅友の会の上熊須会長が「皆さんようこそ。真幸駅はとても気持ちがよくていいところです。いつでも遊びに来てくださいね」と歓迎。それから児童たちは、同会の皆さんと一緒にマリーゴールドとマツバボタンの苗を駅周辺に植えました。花植えが終わると一息ついていっていると、観光列車「しんぺい号」が真幸駅に到着。すると児童たちは、えびの市の観光地などが書かれたチラシや、校庭で集めた四つ葉のクローバーをハート型に切り抜いたプラスチックで包んだものを、降りてきた乗客に配り始めました。このチラシは、「えびの学」の時間で作ったもの。「地元にある駅だから何か役に立ちたい」と、児童たちは必死にチラシや四つ葉のクローバーを作りました。しんぺい号で真幸駅を訪れた木村須磨子さん（名古屋市在住）は「子どもたちから四つ葉のクローバーをもらい、ますます幸せになれるような

気がしました。また、ほんの少しの時間でも、地元の子どもたちと話すことができ、とてもうれしかったです」と、児童たちに手を振りながら、出発を待つしんぺい号に乗り込みました。

出て行くしんぺい号を見えなくなるまで手を振りながら見送る児童たち。真幸駅友の会の皆さんから教わった「おもてなしの心」です。

同校の6年生担任の肥田木恵子先生は、「えびのにはいい所がたくさんあるってことを感じてほしかったです。お客さんが喜んでいたので、子どもたちも喜んでいました。これからも自分たちの生まれたふるさとを、誇りに思えるように育ってほしいですね」と話していました。





生前の山田真幸くん(1歳9か月)。

真幸駅でのもう一つの物語 真幸くんがつないだ 新たな交流

真幸駅と同じ名前が付けられた山田真幸くん(享年1歳11か月)。山田真幸くんは、平成17年8月10日に、父欣也さん、母朝子さんの次男として誕生しました。

鉄道が大好きな欣也さんは、次男の名前を考える際、鉄道にちなんだ名前を付けようと、全国の駅をインターネットで検索。そこで「真幸駅」と出会いました。「真の幸せ」と書いて「真幸」。欣也さんは、この「真幸」という言葉を大変気に入り、朝子さんも大賛成。そして山田真

幸くんが誕生しました。

しかし、先天的な代謝異常の病気を患い、2歳の誕生日目前の平成19年8月9日に、天国へと旅立ちました。「自分自身はもちろん、周りの人にも幸せを与えられるような人に育ってほしい」。そう願って『真幸』という名前を付けたんです。でも、幸せをつかむことって本当に難しいことなんです。と、欣也さんは涙ながらに語ります。

真幸くんは、嫌なものには嫌とはつきり言う意志の強い子だったそうです。兄の俊輔くんが遊ぶのを邪魔したり、俊輔くんの髪の毛を引っ張ったり。朝子さんも「真幸が生きていたら、今ごろはガキ大将でしょうか」と笑みを浮かべます。

今まで訪れたことになかった真幸駅。山田

さんご夫婦は、真幸くんの1周年を終えた平成20年8月、「名前の由来となった真幸駅を一度訪れたい」と、家族とともに真幸駅を訪れました。

山田さんご家族が真幸駅を訪れる目的はもう一つありました。それは、真幸駅に、真幸くんが変わる新しい命を吹き込むということ。朝子さんの母内田富美子さんが育てていたラズベリーの苗を植えることに決めました。最初はこっそり植えようと思っていたところ、真幸駅友の会の皆さんと出会いました。「この苗は私たちが責任を持って育てますから、またぜひ、真幸駅に来てくださいね」と同会の福元幸子さん(中内堅区)。それから福元さんは、水やりや草取りをして、日に日に成長するラズベリーの苗を見守りました。「私もこの苗を真幸くんだと思って育てていま

真の幸せ
さがす旅へ



4



3



2



1

interview
山田欣也さん
山田朝子さん
ご夫妻
山田真幸くんのご両親。真幸くんと真幸駅への思いを、お二人に伺いました。

1 真幸駅を訪れた山田さん家族。左から真幸くんの祖母内田富美子さん、祖父内田重之さん、兄俊輔くん、父欣也さん、母朝子さん、朝子さんの妹内田亜矢子さん2 ラズベリー周辺の草取りに汗を流す福元幸子さん3 真幸駅で絵馬に願いごとを書いた俊輔くん4 絵馬に込められた俊輔くんの願い。「まさしくんがてんごくでげんきにあそびますように」と書かれていた。

「真幸駅でも肥薩線開通100周年を祝う」

一世紀の歴史を胸に

肥薩線が100周年を迎えた平成21年11月21日に、地域住民など、多くの人が真幸駅に集い100周年を祝った。



①肥薩線開通100周年に合わせて復活運行した「急行えびの」(右)。真幸駅のホームに、急行えびのとしんぺい号の二台が並んだ②真幸駅で見送る人々に手を振る乗客たち③踊って100周年を祝う参加者④「幸せの鐘」と100周年を祝って披露されたひよっこ踊り⑤ブルートレインも真幸駅にやってきた⑥しんぺい号を見送る人たち⑦イベントでは、飯野中学校吹奏楽部の演奏のほか、踊りや太鼓の披露なども行われた⑧飛び入りで行われたバナナのたき売り。会場は終始笑いに包まれた。



真幸駅が昭和61年11月に無人駅となるまで、最後の駅長を務めた上村敏昭さん(熊本県宇城市在住)。この日は真幸駅の一日駅長を務めた。

肥薩線が100周年を迎えた11月21日、真幸駅で「駅まつり」が行われました。これは、西内堅区と真幸駅友の会が企画して実施したもので、市民など約500人が参加。飯野中学校吹奏楽部の演奏のほか、地元住民による踊りや太鼓演奏などで同線の100周年を祝いました。

また、平成12年まで運行した「急行えびの」やブルートレインも運行し、同線開通100周年に華を添えました。昭和61年11月に無人駅となった真幸駅。最後の駅長を務めた上村敏昭さんは、「私が駅長を務めていることから、毎朝のように地域の人たちが掃除に来ていたことを覚えています。今思えば、本

に地域に愛された駅だったと思います。無人駅になり、この駅もさびれていくのではないかと心配しましたが、その時の小学生の『私たちが真幸駅を守ります』という力強い言葉に勇気づけられたとともに、安心しました」と、当時を振り返ります。

現在も西内堅区民や真幸駅友の会、真幸小学校の児童など、地域に支えられている真幸駅。これは昔も今も変わっていません。

上村一日駅長は、「真幸駅を、どうえびの市の観光につなげていくか、真剣に考えなければならぬ時期にきています。さらに多くのお客様が真幸駅に来られるように、地域の皆さんのさらなる『おもてなし』をよろしくお願いします」と、さらなる真幸駅の発展を期待しています。

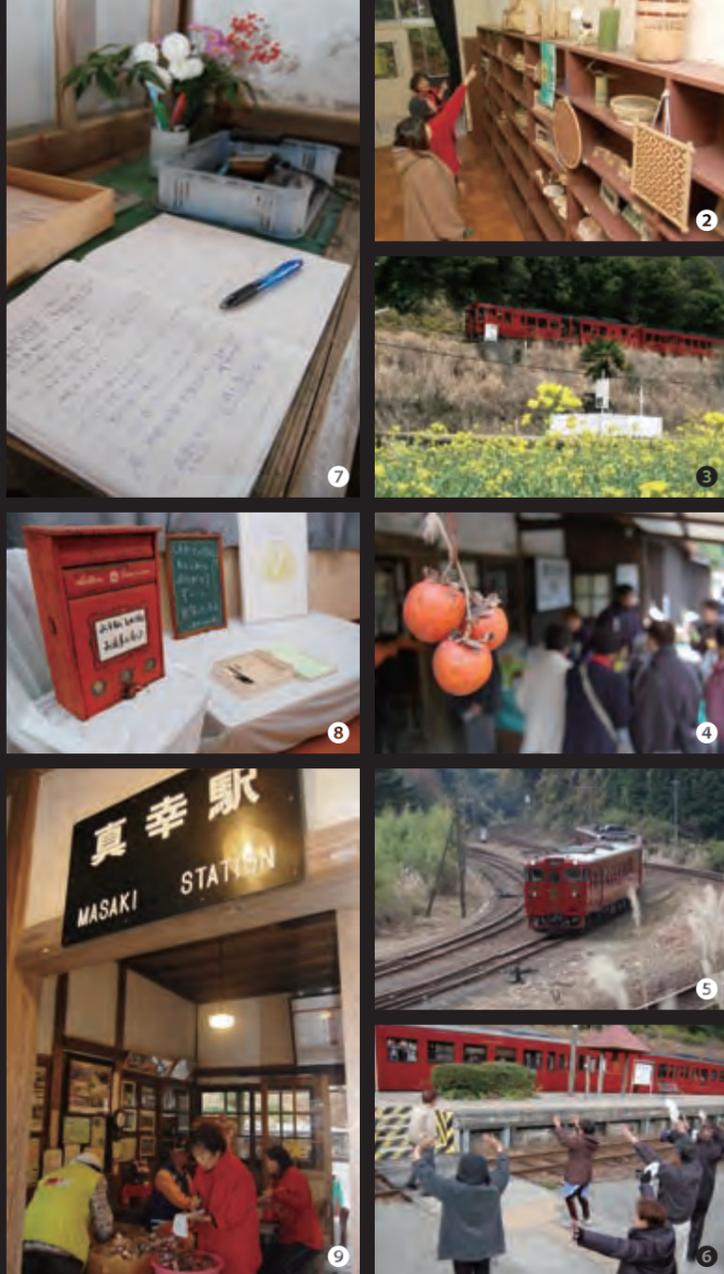




Interview

九州旅客鉄道株式会社
石原 進 代表取締役会長

肥薩線は歴史、文化、食とすばらしい素材があります。そして、そこに住む地域の方々が、環境美化活動を行ったり、物産展を行ったりして、がんばっていらっしゃいます。とてもうれしく思います。皆さんの活動が、観光列車「いさぶろう・しんぺい号」の人気につながっているのです。地域活動の賜物だと思っています。まちづくりは、行政ではなく、住民レベルで考えていかなければなりません。自分の住む地域でも、知らないいい素材がたくさんあると思います。まずはそれらを住民同士で出し合い、もう一回磨き直すということも必要ではないでしょうか。住民の「このまちをこういうまちにしたい」という思いが大切だと思います。



①幸福の鐘。多くの観光客が鐘を鳴らしに来る②旧西内堅小学校の校舎で「真の幸せ展」が開かれている。えびの市ゆかりの作家前川晴さんの作品のほか、辻治男さんの竹細工、宮原良信さんのごったんなども展示③西内堅区民が植えた菜の花。秋にはコスモスが観光客を出迎える④さりげなくつるされた柿。ちょっとした心づかいが魅力を高める⑤いったん駅を通り過ぎてからホームに入ってくる列車。これがスイッチバック⑥列車を見送る真幸駅友の会の皆さん⑦駅舎に置かれたノート。いろんな思いがこぼれている⑧「真の幸せ展」で置かれたポスト。ここに手紙を入れると返事がくる⑨歴史を感じる真幸駅の駅舎。



真幸駅に行ってみよう！

地域の方々によって支えられてきた真幸駅。そこには、ここでは紹介しきれないほどの魅力があります。皆さんも真幸駅の魅力を探しに行ってみませんか。

真幸駅の魅力とは

今年11月に全線開通100周年を迎えた肥薩線。肥薩線には、歴史、文化、食と、たくさんの魅力があります。

沿線の各駅では、真幸駅と同じように、そこで暮らす人たちが掃除をしたり、花を植えたりしています。これも駅の魅力の一つではないでしょうか。九州旅客鉄道株式会社の石原進代表取締役会長も「駅に行けば、その住民の生活に触れることができるということも、ローカル線の大きな魅力。観光客は常にオリジナリティー（独自性）を求めています」と話します。

では真幸駅はどうでしょうか。築100年近くの駅舎、鳴らすと幸せになるといわれる幸福の鐘、スイッチバック、これらも魅力の一つです。しかし、西内堅区や真幸駅友の会、真幸小学校の皆さんの活動があるからこそ、それらの魅力に、さらに磨きがかかるのだと思います。

真幸駅に行ってみよう

真幸駅には、まだまだ皆さんの魅力があります。これらの

魅力は、私たちがいつまでも守り、引き継いでいかなければなりません。

「知っているのは名前だけで、詳しいことはよくわからない」という人が多かった真幸駅。真幸駅は平成23年に開業100周年を迎えます。

100周年を迎えるにあたって、私たちにできることは何かあるでしょうか。真幸駅開業100周年をまちづくりに生かすことはできないでしょうか。まずは、皆さんも、真幸駅に行つて、100年の歴史、そこで活動する人たちにふれてみてください。まちづくりのヒントが見つかるかもしれません。

さあ行きましょう。真の幸せが旅へ。【特集わり

真の幸せ
さがす旅へ



平成 20 年度

決算

報告

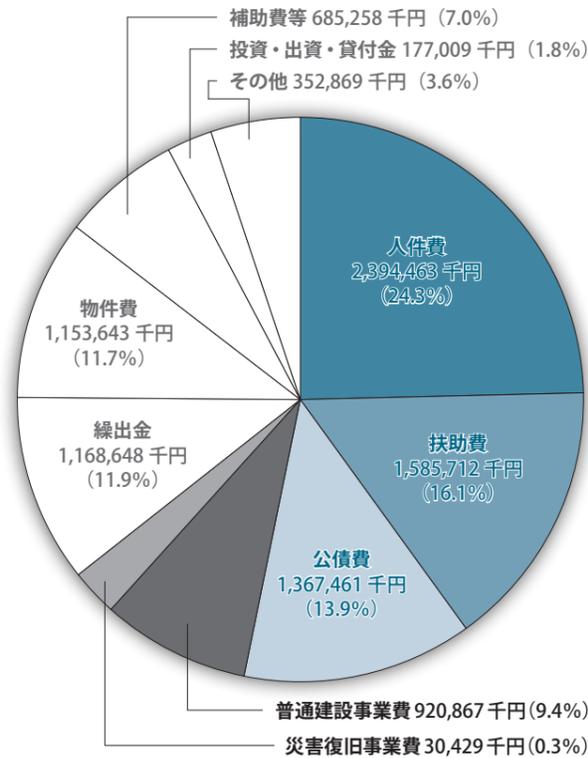
目的別の歳出の状況 ※()は前年度比

- ◎**議会費**・・・1億3,465万5千円 (11.1%減)
議会の活動に要する経費です。
- ◎**総務費**・・・17億4,199万1千円 (27.5%減)
市有財産の維持管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員の人事などに要する経費です。
- ◎**民生費**・・・30億9,527万1千円 (3.3%減)
社会福祉(身体障害者・高齢者・児童に関する福祉)や生活保護などに要する経費です。
- ◎**衛生費**・・・7億6,907万2千円 (4.4%減)
市民の方の衛生的な生活環境を保持するためや、ごみの処理などに要する経費です。
- ◎**労働費**・・・875万2千円 (0.0%)
労働者のための施設の管理などに要する経費です。
- ◎**農林水産業費**・・・7億4,279万4千円 (17.4%増)
農業委員会や、農業・畜産・林業の振興などに要する経費です。
- ◎**商工費**・・・2億1,297万円 (2.5%増)
商工業の振興や、観光事業、企業誘致などに要する経費です。
- ◎**土木費**・・・6億939万4千円 (22.5%増)
道路の新設や維持管理、市営住宅の維持管理などに要する経費です。
- ◎**消防費**・・・3億2,934万9千円 (9.6%減)
消防や災害対策に要する経費です。
- ◎**教育費**・・・7億9,422万1千円 (20.2%増)
小・中学校、教育委員会、社会教育や、市内体育施設の維持管理などに要する経費です。
- ◎**災害復旧費**・・・3,042万9千円 (89.3%減)
災害によって生じた被害の復旧に要する経費です。
- ◎**公債費**・・・13億6,746万1千円 (2.2%減)
市の借金の返済に要する経費です。

一般会計 歳出 総額

98億3,635万9千円

対前年度比 7.3% 減

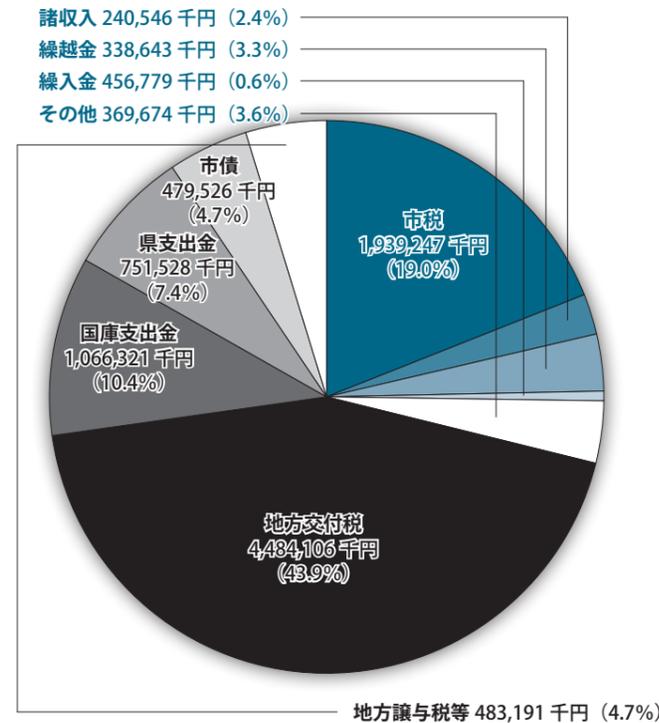


青：義務的経費 黒：投資的経費 白：その他の経費

一般会計 歳入 総額

102億956万1千円

対前年度 6.8% 減



※()は構成比

青：自主財源 黒：依存財源

用語の説明

- 【地方交付税】 地方税などの自主財源だけでは財源の足りない地方自治体に対して、国が交付するお金。
- 【国庫支出金】 国から地方自治体に支出される補助金や委託金。
- 【市債】 市がさまざまな事業を行う時、長期にわたって借りたお金。
- 【自主財源】 市が自ら徴収または収納できる財源。市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入など。
- 【依存財源】 国や県の意思により決定された額を、交付されたり、割り当てられたりする財源。地方交付税、国庫・県支出金、地方譲与税、市債など。
- 【義務的経費】 歳出のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減することが困難な経費。人件費、扶助費、公債費。
- 【投資的経費】 歳出のうち、その支出が建物、学校、道路など、資産形成に向けられる経費。
- 【人件費】 市職員給与、市議会議員・各種委員報酬など。
- 【扶助費】 法令に基づき、被扶助者に支出される経費。児童手当、医療扶助、教育扶助など。

平成 20 年度えびの市健全化判断比率

【単位：%】

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (14.26)	— (19.26)	12.3 (25.0)	— (350.0)

- ①実質赤字比率の「—」は、実質赤字額がないことを示します。
- ②連結実質赤字比率の「—」は、連結実質赤字額がないことを示します。
- ③将来負担比率の「—」は、将来負担比率が算定されず、現時点における市の借入金の残高や、将来支払うべき負担等が、将来の財政を圧迫する可能性が低いことを示しています。
- ④各比率の()内の数値は、えびの市の早期健全化基準を示しています。

いずれの指標についても、早期健全化基準(財政状況が悪化した場合に、財政の早期健全化を図るべき基準)を下回ることはできませんでした。これも、財政健全化の取組みに対し、市民の皆さんの多大なるご理解とご協力があったからこそです。引き続き、健全な財政運営に全力で取り組みますので、皆さんのご協力をよろしく願います。

平成20年度一般会計の決算状況は、歳入総額102億956万1千円、歳出総額98億3,635万9千円で、差引き3億7,320万2千円となりました。詳細は上記のとおりです。

平成20年度えびの市健全化判断比率

えびの市の平成20年度決算に基づく健全化判断比率は左表のとおりです。

特別会計・企業会計決算

【単位：千円】

区分	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	3,663,919	3,406,626
後期高齢者医療特別会計	502,958	498,568
老人保健特別会計	349,467	345,052
介護保険特別会計	2,568,946	2,508,079
特別会計	15,873	15,298
観光特別会計	36,642	35,732
水道事業会計	391,141	312,158
病院事業会計	1,007,088	976,190
資本的収支	91,155	326,068
資本的収支	29,053	47,354

国民健康保険のように、特定の人たちの相互扶助を目的とした事業は、原則として、利益を受ける人たちが負担するお金で運営します。そのため、一般会計とは別の「特別会計」となっています。

市民負担の状況

【単位：円】

区分	決算額	一人あたり	一世帯あたり
市民税(個人)	570,148,737	25,026	56,574
固定資産税	990,391,900	43,473	98,273
軽自動車税	60,591,800	2,660	6,012
市たばこ税	116,640,214	5,120	11,574
入湯税	5,178,750	227	514
国民健康保険税	610,104,725	72,502	133,152

住民基本台帳人口22,782人、10,078世帯で算出。国民健康保険被保険者は8,415人、4,582世帯。(平成21年3月31日現在)
※滞納繰越分を除きます。
※各税目は、納める対象者が決まっており、各個人の税負担額はそれぞれ違いますが、ここでの一人・一世帯あたりの金額は、単純に決算額を人口・世帯数で割って算出しています。

財産の状況

◎公有財産、物品

区分	面積・数量等
土地	10,426,398.70㎡
建物	132,451.99㎡
物品	物品のうち公用車129台

◎債権、基金

【単位：円】

区分	19年度末残高	20年度末残高	増減
有価証券	16,644,200	16,644,200	0
出資による権利	169,928,613	170,998,613	1,070,000
債権	482,471,061	475,190,168	-7,280,893
基金	5,138,950,322	5,330,353,737	191,403,415

市債の借入残高の状況

区分	平成20年度末残高
一般会計	83億3,359万8千円
水道事業会計	8億4,315万6千円
病院事業会計	5,772万6千円
一時借入金	0

特別会計・企業会計決算、市民負担の状況、財産の状況は【平成20年度決算書】から。

01

第5回えびの市米・食味コンクールを開催 うまいえびの米がここに集結



米の外観などを見る審査員。

第5回えびの市米・食味コンクールが、11月21日、えびの市農業協同組合本店で行われました。これは、全国に負けない、安全・安心・信頼のおけるおいしいえびの産ひのひかりを目標そうと毎年実施されているもので、218点の応募がありました。

審査委員が、米の外観や香り、味などを審査しました。審査の結果、池田満次さん(下大河平区)の生産した米が最優秀賞に選ばれました。池田さんは、「米づくりで特にこだわっているのは、毎年土壌診断を行い、その診断結果に基づいて施肥することです。これからはすばらしい米を作るために努力していきます」と話していました。

また、審査委員長を務めた五ツ星マイスターの藤木明さんは「最優秀賞の米は特に香りがよく、粒もきれいに整っていました。年々、出品される米はおいしくなっていて、評価の差をつけることが難しくなっています。今後も特A産地を目指していただきたいと思います」と講評しました。

【本選審査結果】(敬称略)
◎最優秀賞 池田満次(下大河平区)
◎優秀賞 新出水寛人(出水区)、上川忠男(下大河平区)、岡田勇(北岡松区)、林進(牧の原区)

■お問い合わせ先
市畜産農林課農産園芸係 (内線 223・226)

02

幼年消防用活動資器材を整備 防災普及啓発活動に役立てて



市長から鼓笛隊セット受け取る上江保育園の園児たち。

上江保育園に、11月24日、幼年消防用活動資器材として、太鼓セットやマーチングキーボード、ベストやベレー帽などの鼓笛隊セットが贈られました。これは、民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進事業として、財団法人日本防火協会の助成(宝くじの助成)を受けて贈られたものです。

上江保育園では、毎年運動会のマーチングで鼓笛隊セットを活用していました。しかし、その楽器等が古くなってきていました。今回、鼓笛隊の楽器等が整備されたことにより、運動会や発表会での活用はもちろん、防災や防犯、交通安全を呼びかけるパレード等にも参加し、防災普及啓発活動に役立てます。

贈呈式で村岡市長は、「この鼓笛隊セットを使って活動に役立ててください」とあいさつ。また、同園の紫雲宣子園長は、「これまで使っていた楽器が古くなっており、大変ありがたく思います。園児たちも大変喜んでいました。大切に使用させていただきます。この鼓笛隊セットを活用して、保護者の皆さんの防災普及啓発に努めていきたいです」と話していました。

楽器を手に、衣装を身に付けた園児たちは、楽器を鳴らすなどして、とても喜んでいました。最後に園児全員で「ありがとうございます」と元気よく市長に礼を述べました。

■お問い合わせ先
市総務課防災対策係 (内線 313・316)

03

第3回福岡・宮崎交流懇談会をえびので開催 県際交流をテーマに語りあう



パネルディスカッションで意見を述べる村岡市長(左)。

第3回福岡・宮崎交流懇談会が、11月27日、28日の2日間、市文化センターと市国際交流センターで行われました。これは、九州経済フォーラムが主催で行ったものです。九州各県の旬のテーマについて、経済界、行政、学界、文化芸術分野から講師を迎え、講演会等を行うとともに、各県と経済界との交流を図ることを目的に行われたものです。

27日に、大手企業の社長などがえびの市を訪問。木崎原古戦場跡を視察した後、市文化センターで、鹿児島大学法学部教授の原口泉氏を講師に招き記念講演が行われました。その後、市国際交流センターで交流懇談会が行われました。交流懇談会では、えびの市の食材を使った料理が振る舞われ、九州の経済界トップの皆さんと、市内の商工業者の皆さんなどが交流を深めました。また、郷土芸能発表会として、鹿児島県伊佐市の湯

之尾神舞、えびの市の麓輪太鼓踊も披露されました。28日には、基調講演の後、えびの市長、人吉市長、伊佐市長、湧水町長をパネリストにパネルディスカッションを開催。各首長が県際交流について意見を述べ合いました。村岡市長は、「県際地域で連携できることは、まずは観光ではないでしょうか。県際地域で人が行き来できるように連携していきたいですね」と話していました。

■お問い合わせ先
市企画課計画係 (内線 321・322)

04

消防団の小型動力ポンプ付積載車4台を更新 気持ちも新たに消防団活動を



新しい消防車を見る消防団員。

消防団の小型動力ポンプ付積載車4台が更新されました。これは、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を使って更新されたもので、配備から15年を経過している消防車が更新されました。

12月9日、市役所で消防車の引渡式が行われました。式で、大溝原区長の前田寛道さんが「財政が厳しい中、このように消防車を配備していただき感謝申し上げます。これから、緊急時にスムーズな対応がとれるように、日ごろから訓練に励みたいと思います。地域住民の生命、身体、財産を守ることを誓い、今後ご指導のほど、よろしくお願いたします」と謝辞を述べました。

また、第1分団第3部の栗屋猛部長は、「訓練以外で消防車を使うことがない方が多いですが、もし、火事などの災害が発生した場合には、迅速な活動ができるようにしておきたいですね。また、自主

防災組織との連携も、より密なものにしていきたいです」と話していました。

■お問い合わせ先
市総務課防災対策係 (内線 313・316)



県大会と九州大会を制した大正水流さん。

大正水流 博さん

お客さんや同業者に認められる職人になりたい

Hiroshi Taizyouzuru
たいしょうずる・ひろし / 31歳 / 鹿児島県加治木町在住(中上江区出身) / 自営業 / 第43回九州電気工業協会技能競技大会で最優秀賞に輝いた。

「後継ぎとして親父と仕事をしている中で、今回の大会では『少しでもいい結果を出さないと』と、自分自身でプレッシャーをかけていました。いい結果が出て、今はほっとしています」と話すのは、11月17日に行われた「第43回九州電気工業協会技

能競技大会」で、見事最優秀賞に輝いた大正水流博さん(加治木町在住)です。大正水流さんは、中上江区出身で、5年前に実家の電設業の後継ぎとなりました。現在は加治木町から毎日通って仕事に励んでいます。今回大正水流さんが最優秀

賞に輝いた競技は、180cm四方の板に、いかに早く正確に配電、配管をし、電気を点灯させるかという競技。そのほかにも、身だしなみや整理整頓など、細かいところまで審査されます。大正水流さんは、圧倒的な早さ、正確性で県予選を1位

で突破。九州大会でも、父親や小林電設協同組合の皆さんの指導のもと、練習に励んだ結果、最優秀賞に輝きました。これは県内初の快挙で、家族や同組合の皆さんも大変喜んでいました。「きついこともありますが、好きでやっている仕事だから

楽しいですね。お客さんや同業者の皆さんに認めてもらえるような職人になりたいです。できるだけ近いうちにえびのに帰りたいと思っています」と話す大正水流さん。これからの活躍を心から期待するとともに、えびのに帰ってくるのを待ちめています。

家庭教育学級通信

疲れや悩みの解消の場となるように

(飯野小学校家庭教育学級)



心強い存在である家庭教育学級の皆さん。

飯野小学校は、市内でも最も児童数の多い学校です。しかし、家庭教育学級は、毎回多くの参加者でにぎわうわけではありません。そこで今年度から、各クラス2人ずつの役員さんに加わっていただき、28人の係体制となつてその輪を広げたいと考えています。ヨガ教室では、知らないうちにバランスが悪く、硬くなった体を、理想のスタイル

を思い描きつつ、楽しく必死に動かしました。手話講座では、手話での自己紹介や歌に挑戦。また、野外散策や料理教室なども行いました。他の家族と一緒に親子での体験を通して、日ごろの家庭の親子関係とは違う視点で、家族の再発見ができました。このように、一人ではなかなか踏み出せないものを、顔見知りの方々と体験できることが、家庭教育学級ならではの良い点だと思います。また、参加した方から「来て良かった。楽しかった」という声をかけてもらえることが、私たちの励みになります。少しでもこの学級が、皆さんのストレス発散の場となり、疲れや悩みの解消につながればと考えています。そして、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんも参加できる講座を用意したいと考えています。



飯野小学校家庭教育学級長 新宮裕子さん

ジオパーク発掘調査隊 その3

これまで2回にわたり、霧島山の歴史について紹介しましたが、今月から5市2町のそれぞれのまちにある地質学的遺産を紹介していきます。今回は、都城市の関之尾滝とその地区で滝の観光ボランティアガイドを行っている「関之尾むかえびと」を紹介します。

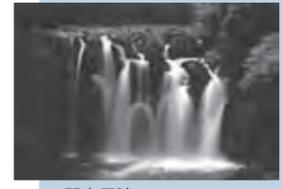
関之尾滝と甌穴群

「日本の滝百選」に選ばれている関之尾滝は、幅40m、高さ18mにも及ぶ大きな滝で、木々の間から流れ落ちる男滝、女滝の3つの滝からなります。また、滝の上流には、国の天然記念物に指定されている世界有数の甌穴群があります。甌穴とは、川床のくぼみに入った小石が水の流れに

よって回転し、岩盤を削つてできた円筒形の穴のことです。その形成は現在も進行中で、このような甌穴群は世界でも珍しく、地質学上貴重なものです。滝の上流600m、最大幅80mにわたって広がる甌穴群は迫力満点です。

「関之尾むかえびと」とは?

関之尾滝周辺の観光力向上に向けた取組みの一環として、今年の5月10日に発足した観光ボランティアガイド「関之尾むかえびと」。現在ガイド10人が、観光バスや乗客や遠足の小学生、家族連れやグループで訪れた観光客などに、関之尾滝周辺の見どころや歴史、伝説などをおもてなしの心で説明しています。



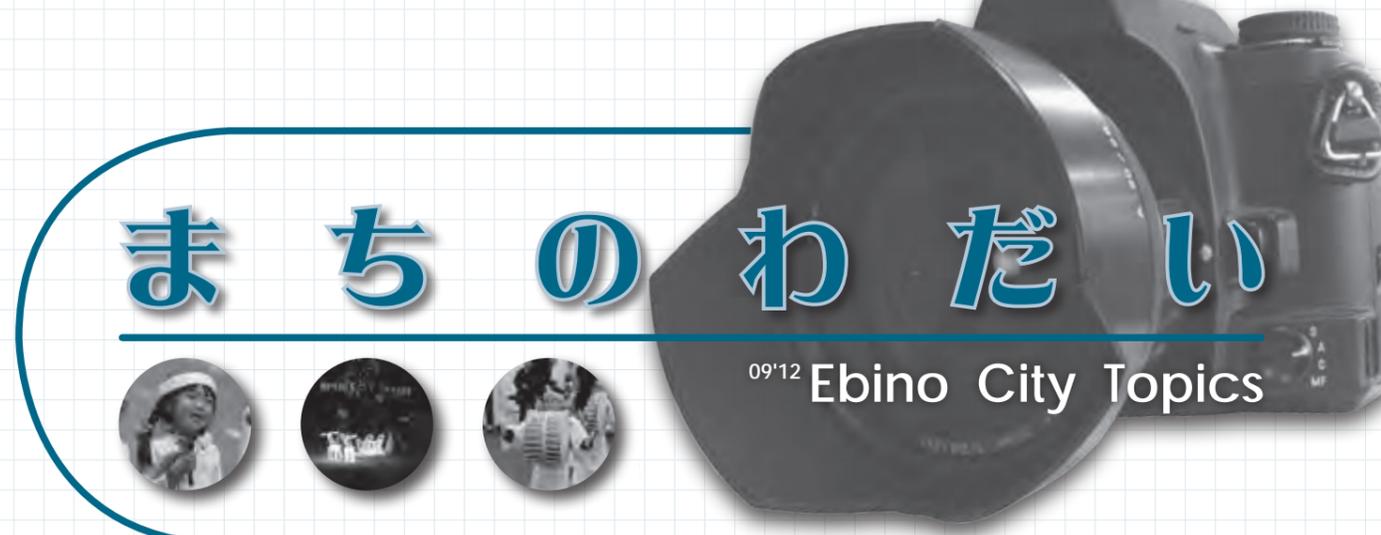
関之尾滝



甌穴群



関之尾滝むかえびと



09'12 Ebino City Topics

まちのわだい



農林水産大臣から感謝状



農林水産大臣から感謝状の贈呈を受けた岡原さん。

岡原道広さん(高野区)に、農林水産大臣から感謝状が贈られました。これは、長年にわたり、農業経営統計調査や林業経営統計調査にご協力いただいた記帳農林漁家に贈られるものです。統計調査の結果は、農林水産業各種施策の基礎資料として活用されます。岡原さんは、20年以上、畜産業を営みながら農業経営統計調査に協力してきました。岡原さんは、「今回で感謝状をいただくのは3度目ですが、とても光栄に思います。これからも自分にできることは、できる限り協力していきたいですね」と話していました。

綱引いて国際交流深める



声援を受けて必死に綱を引く選手たち。

国際交流フェスティバルが、11月15日、市国際交流センターで行われました。これは、イベントを通して市民に外国の方とふれあい、国際交流を深めてもらうと行われたものです。フェスティバルでは、歌や踊りの披露、綱引き大会などが行われました。綱引き大会では、5人1チームとなって熱戦を展開。「いち、に、いち、に」と声をかけ合い、必死に綱を引いていました。綱引き大会に参加した選手は、「練習しましたが、相手は強かったです。外国の方とも楽しく交流できました」と話していました。

ふるやの恵みに感謝



市民の力作が並んだ文化の部。

田の神さあ(里産業文化祭)が、11月21日、22日の2日間、えびの市文化の杜周辺で行われました。産業の部では、市内で生産された農畜産物や農機具などの販売、畜産まつりなどを開催。文化の部では、写真や絵画、手芸品など、園児から高齢者までの力作がずらりと並びました。訪れた人たちは、面白い物を楽しんだり、イベントを楽しんだりしていました。また2日には、メインステージ前で郷土芸能の発表が行われました。今年は西上江区の輪太鼓踊り、西川北区の鏡とき踊、今西区の三段打太鼓踊が披露されました。

切った枝葉をリサイクル



真幸小学校に贈る腐葉土を積み込む同センターの会員。

(社)えびの市シルバー人材センターが、12月1日、校庭の花壇などで活用してもらおうと真幸小学校に腐葉土を贈りました。この腐葉土は、高齢者就業機会確保事業の企画提案方式によるリサイクル事業として、同会が委託を受けて伐採した枝葉を細粒にして発酵させたものです。臭いが少なく、これまで捨てていた枝葉を有効活用することで、リサイクルにもつながります。同センターの田邊宗廣事務局長は、「学校の花壇や家庭菜園、地域などで、広く活用してほしいですね」と話していました。

空手の県大会で大活躍



県大会で活躍を見せてくれた友和会えびのの児童たち。

11月29日に県武道館で行われた宮崎県武道祭空手道練成大会で、日本空手道友和会えびのの選手たちが大活躍しました。12月4日に、村岡市長を訪問し上位入賞を報告。同会の藤本敏治代表は、「大きな声でのあいさつなど、生活態度をよくするにつれて空手も上達しました。基本を積み重ねてきた結果です」と話していました。【大会結果】小学4年男子形優勝 上野光志郎、5年男子形優勝 岡園咲海、同3位 栗下泰誠、6年男子形優勝 上野春輝、同準優勝 神崎勇翔(皆加久藤小学校)

ムード満点のコンサート



美しい歌声を披露する宮崎ゴスペルクワイヤ。

「みやざき音届けコンサート in えびの」が、12月4日、グリーンパークえびので行われました。これは、「ミュージックランドみやざき」づくり推進の一環として県が行ったもので、7月から県内10か所で行われました。また、この日からグリーンパークえびののイルミネーションが点灯(平成21年1月11日まで)。クリスマスムード満点の中、県内で活躍するWhoopin(ウーピン)と宮崎ゴスペルクワイヤが美しい歌声を披露しました。訪れた人たちは、美しいイルミネーションと歌声に感動していました。

市民手作りの音楽祭



見事な演奏を披露した三味線鴻人会竹内社中の皆さん。

田の神さあ(里市民音楽祭)が、12月12日、市文化センターで行われました。これは、市民が実行委員会を作り、企画・運営を行う市民手作りの音楽祭です。音楽祭には、園児から高齢者まで、11の団体が出演。園児たちの元気な合唱や大人たちの美しいコーラス、ピアノや大正琴の演奏などが披露されました。三味線鴻人会竹内社中として、三味線を披露した前島正子さん(京町区)は「今日のために、練習に励みました。今日はみんなの息が合って、うまく演奏できました」と話していました。

information

お知らせ コーナー

・お知らせ・

年末年始のごみ収集日程等のお知らせ

年末年始のごみの収集は次のとおりです。

【年末特別収集】

◎ 12月29日(火) = <燃やせないごみ>と<空き缶・空きびん>を市内全域で収集します。

◎ 12月30日(水) = <燃やせるごみ>と<プラスチック製容器包装>を市内全域で収集します。

※ごみは、当日の午前8時30分までに地区ステーションに出してください。なお、資源ステーションに出すことになっているごみは収集しませんので、ご注意ください。

【年末の曜日指定解除】

年末に伴う一斉清掃のため、曜日指定を解除します。期間は、12月21日(月)～12月30日(水)の正午までです。

※年末は利用者が大変多く、混雑が予想されます。市の指定袋に分別をして、種類ごとに寄せて、余裕を持って搬入してください。ご協力をお願いします。

【年始のごみ収集】

1月4日(月)から通常どおりの収集を行います。

【年末年始の美化センター受入】

年末は12月30日(水)の午前中まで受け付けます。年始は1月4日(月)から受け付けます。なお、この日は<燃やせるごみ>の搬入日になります。

【年末のし尿くみ取り】

年末のし尿くみ取りは、12月29日(火)までです。下記の許可業者に依頼してください。許可業者=小林衛生公社(☎ 0984-23-2429)

☎ 市美化センター(市環境業務課) ☎ 0984-33-5782

健康診査(人間ドック)を受診できなくなった方へ

市では、平成21年度から、国民健康保険加入者(35歳から74歳までの方)で、希望する方を対象に、健康診査(人間ドック)を実施しています。受診期間は平成22年1月31日(日)までとなっています。申込みをして、まだ医療機関で受診していない方は、必ず期間内に受診するようにお願いします。

なお、申込者の都合により受診できなくなった場合は、申込みの際に配布しました受診票を回収しますので、必ず、市健康保険課医療保険係の窓口まで申し出てください。

☎ 市健康保険課医療保険係(内線 273・274)

来年1月1日から日本年金機構がスタート

平成22年1月1日から、社会保険庁が廃止され、新たに「日本年金機構」がスタートします。

これは、国民の信頼にこたえ、一層のサービス向上の実現を目指し、社会保険庁は、組織・人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わるものです。公的年金の運營業務は日本年金機構が行い、公的年金の財政責任・運営責任は厚生労働省が負います。

現在あるお近くの社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご

利用いただけます。また、「年金事務所」は、現在ある社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変更はありません。

☎ 市市民課市民・年金係(内線 271・272・276)

商業・法人登記事務取扱庁変更のお知らせ

宮崎地方法務局小林出張所管轄(えびの市、小林市、高原町、野尻町)の会社や法人の登記事務については、宮崎地方法務局登記部門で取り扱うこととなりますのでお知らせします。

なお、会社や法人の登記にかかる登記事項証明書、印鑑証明書の交付事務(動産・債権譲渡登記にかかる概要記録事項証明書の交付事務を含む)については、引き続き、小林出張所でも取り扱います。

また、不動産登記事務については、変更はありません。

【変更後の取扱庁】宮崎地方法務局登記部門(宮崎市別府町1番1号)

【変更予定日】平成22年1月25日(月)

☎ 宮崎地方法務局小林出張所 ☎ 0984-23-3211

南九州駅伝競走大会にご理解とご協力を

平成22年2月7日(日)に、第64回南九州駅伝競走大会が開催されます。安全で円滑な運営を行うため、選手の通過予定時刻前後は交通規制が行われますので、交通渋滞が予想されます。お出かけの際は、早めに家を出るか、う回路をご利用ください。

【選手通過予定時刻】

◎午前10時スタート=真幸地区体育館 ◎午前10時35分=オカ薬局本店前 ◎午前10時53分=小林市河島木材工業

(株)前 ◎午前11時14分=小林市靴の小笠原前 ◎午前11時37分=高原町フリーウェイ工業団地南口前 ◎午後0時4分=都城市ローソン高崎大牟田店前 ◎午後0時34分=都城市立志和池小学校前 ◎午後1時6分=都城市役所玄関前
☎ 南九州駅伝競走大会事務局(都城市スポーツ振興課内)
☎ 0986-23-9546

・相談・

遺言(公正証書)の相談に応じます

都城公証人役場では、遺言(公正証書)の無料相談に応じます。【相談日時】平成22年1月25日(月)の午後1時～午後4時【会場】えびの市社会福祉協議会

【相談員】新井克美氏
※相談を希望される方は、事前に予約が必要です。下記に電話で予約してください。

☎ えびの市社会福祉協議会 ☎ 0984-35-2800

司法書士による無料法律相談を開催します

宮崎県司法書士会では、「県下一斉司法書士無料法律相談」を開催します。

【開催日時】平成22年2月7日(日)の午前10時～午後4時(受付は午後3時30分まで)
【会場】司法書士総合相談センターにしもろ(宮崎地方法務局小林出張所東隣)

【相談内容】不動産、会社の登記手続、供託、成年後見、借金の整理、訴訟に関する事など

☎ 宮崎県司法書士会 ☎ 0985-28-8538

・案内・

小林商業高校の閉校記念行事を行います

昭和39年に開校した宮崎県立小林商業高等学校は、平成22年3月末で閉校します。つきましては、下記のとおり閉校記念行事を行います。

【開催日時】平成22年2月27日(土)の午後2時～

【会場】宮崎県立小林商業高等学校体育館

※卒業生等で式典に参加を希望する場合は、官製はがきに、氏名、住所、電話番号、卒業生の方は卒業年度を明記のうえ、平成21年12月25日(金)までに同校あてに送付してください。後日、整理券を送付します。なお、同校のホームページからでも申し込むことができます。人数に限りがありますので、応募多数の場合は、参加をお断りすることがありますので、ご了承ください。

また、同日、同窓会主催の「思い出語ろう会」を行います。

【開催日時】平成22年2月27日(土)の午後5時30分～

【会場】天守閣(小林市)
【会費】3,500円(閉校記念誌1,000円を含みます)

※参加を希望される場合は、同校までご連絡ください。

☎ 宮崎県立小林商業高等学校閉校行事等実行委員会事務局 ☎ 0984-23-4174

119 だより

急激な温度変化に気をつけて

年末になり、公私ともに多忙の時期となりました。また、家を空けることも多くなる時期です。寒さもだんだんと厳しくなり、暖房器具等の火気を取り扱う機会も多くなります。

我が家から火災を出さないように注意して、火災のない年末年始を迎えましょう。

『消えるまで ゆっくり 火の元にらめっこ』

11月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	0件	年計	16件
	救急	55件	年計	663件

■えびの消防署 ☎ 0984-33-6119

110 だより

「飲酒運転根絶運動」実施中!

今年11月末現在、県内では、飲酒運転による死亡事故が昨年に比べ大幅に増加し、死亡事故以外でも、飲酒の絡む事故が昼夜を問わずに発生しています。

このような状況の中、現在、「飲酒運転根絶運動」が実施されています。飲酒運転をすると、逮捕、懲役刑または高額な罰金、運転免許の取消し等、厳しい罰則が待ち受けており、社会的信用や大事な職を失うこととなります。飲酒運転をしないことは当然ですが、車の運転者に酒類を提供する行為、飲酒運転の車に同乗する行為、飲酒している人に車両を提供する行為も、飲酒運転者と同罪となります。

市民一丸となって、えびの市から飲酒運転を根絶しましょう。

11月の交通事故発生状況	人身	12件	年計	99件
	物件	34件	年計	276件

■えびの警察署 ☎ 0984-33-0110

ありますが、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



児童生徒に聞かせたい
『名言1分話』

柴山一郎 / 著
(学陽書房)

世界の名言・格言などを数多く紹介し、それに関係のある歴史的なできごとや著者の経験などを踏まえた解説を、短文で分かりやすい言葉でまとめた本です。児童生徒だけではなく、さまざまな方に活用できるおすすめの一冊です。一度は聞いたことのある言葉や、心に残る言葉に、きっと出会うことでしょう。ぜひ、年賀状などにも活用してみてください。

BOOK CORNER ■推薦：市民図書館

心の一首一句

短歌

年経れど人の心に訴ふる

回天一基なほ黒光る

上浦区 藤井猪徳

回天の歌ですが、大津島に私が行った折に回天が一基ありました。考案者は黒木博司海軍少佐です。大東亜大戦の終戦は、私が小学校四年生の時でした。
(自註)

俳句

木枯しや五臓六腑は湯気の中

中島区 石坂伊左郎

窓の外では、絶え間なく木枯しが吹いています。しかし湯舟に浸かっている身体は芯まで暖かく、湯気に囲まれて時間はゆっくりと流れていきます。明日への活力が生まれてきます。
(自註)

詩

おもいで

京町区 藤井れい子

昔来た 小道を歩いてみた
様々な 思い出がよみがえる
ずっと心に巣くっていた
心の中のわだかまりが
この風景の中に溶け出している
悲しいはずの風景が
どうしてこんなに懐かしく
暖かいのだろう
人生は いとおいしいと思える
そして 新たな希望がわいてくる
道ばたには 昔と同じ
小さな花が咲いていた

男女共同参画だより

「私と男女共同参画」

私は保育園に勤務して5年目を迎えます。以前は、保育園というと、女性ばかりの職場で、男性の職員はあまり見られませんでした。名称も、今では「保育士」ですが、以前は「保育士」と言われ、やはり女性色の強い仕事だったように思われます。



野村静治さん

しかし近年は、保育園に勤務する男性職員も増えてきています。これは、男女共同参画という考え方が広まってきた結果だと思います。

私自身についても、小さいころは「男の子(女の子なのに・・・)」という言葉をよく耳にしました。えびの市が主催する「男女共同参画フォーラム」に参加して感じたことは、年齢層が高くなるにつれ、その思いは強く残っているということ。その概念は、最近まで、私の心にも残っていたような気がします。

私の場合は結婚を機に少しずつ変わってきました。共働きの私たちは、家事はもちろん、育児、地域行事への参加も協力し合ってきました。それが自然な流れとなり、いつのまにか私の中からは「男性だから仕事、女性だから家事」という固定的な性別役割分担意識が取り除かれています。

女性の社会進出も、公務員の世界では男女共同参画が進んでいますが、民間企業での女性進出はなかなか実現されず、高い能力を持っているにもかかわらず、性別の違いだけで、能力を発揮できない状況がまだまだにあるようです。一人一人が持つ能力を「性別の違い」だけで否定されるのは、許されてはいけません。

人にはそれぞれ違いがあり、個性があります。その個性を、あるがままに受け入れ、互いに認め、手を取り合って協力し合うことが、男女共同参画の実現、より良い社会づくりへの近道なのではないでしょうか。

Editor's

◎編集後記

今月は、真幸駅を特集しました。市民の皆さんにもっと真幸駅を知ってもらい、真幸駅に行ってもらいたいと思い、春から取材してきました。その中で多くの方と出会い、いろいろな話を聞くことができ、真幸駅はある程度は知っているつもりでしたが、知らないことが多くありました。皆さんもぜひ行ってみてください。広報えびの12月号を編集集中、大好きだった祖父が他界しました。幼いころ、よくカブトムシ取りに連れて行ってもらったのを覚えています。特集を編集しながら、真の幸せて難しいんだと、涙ながらに痛感しました。じいちゃん、今までありがとう。(補元)

◎えびの市の人口

男性 / 10,183人 (-10人) 転入 / 17人
女性 / 11,520人 (-14人) 転出 / 20人
合計 / 21,703人 (-24人) 出生 / 6人

◎えびの市の世帯数

9,141世帯 (-9世帯) 死亡 / 13人

(平成21年12月1日現在)

今月の納税

固定資産税 第3期
国民健康保険税 第6期
12月25日までに納めましょう。

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984-37-3056

(俳句) 阿野文雄さん ☎ 0984-37-1653

(詩) ポエム同好会(市田寛幸さん) ☎ 0984-37-2528まで。

ふるさと散歩

Furusato-sampo

134

真幸院の二之宮（その11）



栗下地区にある加久藤神社。

前回は、一の宮の香取神社（今西地区）を紹介しましたが、

今回は、二之宮の加久藤神社（栗下地区）を紹介します。

二、二之宮 大明神社

二之宮大明神社は、栗下地区にある現在の加久藤神社です。

「三國名勝図会」によると、「栗下村にあり、祭神仲哀天皇を崇む、勸請年月詳ならず、往古は二之宮現王といへる小社なりしに、慈眼公（島津家久）加久藤に誕生し玉ひしより、産土神なる故に、松鈴公（島津義弘）深く崇敬を加へ、^{1581年}天正九年辛巳、大般若経一部、同^{1581年}十一年癸未、十六善神畫一幅を寄進し玉ふ、滋眼公誕生の時、親か

ら當社へ御参詣ありしに、社司黒

木源兵衛が亭にて、盃酒の賀儀あり、源兵衛城に朝す、本田源右衛門をして、旨を傳へて宝刀一口を賜ふ、其家今に是を傳へて宝蔵す、其後滋眼公ますます御崇敬あり、二之宮大明神と改め称せらる^{1602年}慶長七年壬寅十二月二十四日、神領三十石を寄進し、同十四年己酉九月四日、社殿を造営して宏麗舊に倍す、又寛永十四年、神領二十石を増し玉ふといふ、例祭九月十日、年中大小祭祀凡十六度あり、松鈴公當郷御在城の時は、祭日には親づから参詣し玉ひしとぞ、祭祀も種々の式あり、是松鈴公の定め玉ひしといひ傳ふ、當郷の惣鎮

守なり」とあります。

加久藤神社は、白鳳七年に藤原鎌足の命令で勸請され、二宮鹿島大明神と称されました。明治元年七月に二宮神社と改称され、さらに明治三年六月に加久藤神社と改称されました。また、明治十年の西南の役で社殿と宝物一切を焼失しましたが、明治十四年七月に再建されました。現在の社殿は昭和十年三月、熊本市の藤崎八幡宮の拝殿を移築したものです。

別当寺は、高連山福生院二之宮寺といい、真言宗の寺院で神社の北にありましたが、明治三年に廃寺となりました。

（文）市歴史民俗資料館・市田陸奥雄